

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600735
法人名	株式会社ジイコム
事業所名	グループホーム多賀の里
所在地	愛媛県西条市北条231番地1
自己評価作成日	平成21年9月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながり。又認知症の方でも1人1人普通に穏やかに暮らしていけるよう支援していること。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

職員は、ご家族から生活歴をお聞きしたり、又、好きな歌等を通し、コミュニケーションをとりながら情報収集されている。意思疎通のむつかしい方であっても「まばたき」や「うなずき」等からも、思いを把握できるよう努められる。「利用者の様子がより細かく分かるように」日々の生活記録を一時間毎に記録するように改善されていた。  
併設デイサービスに通われている友人が訪ねて来られたり、又、ご本人がデイサービスに会いに行かれている。月1回、外泊してご家族と過ごされる方もある。携帯電話でご家族とおしゃべりを楽しむ方もある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ケアーセンター多賀の里

(ユニット名) 壱丁目

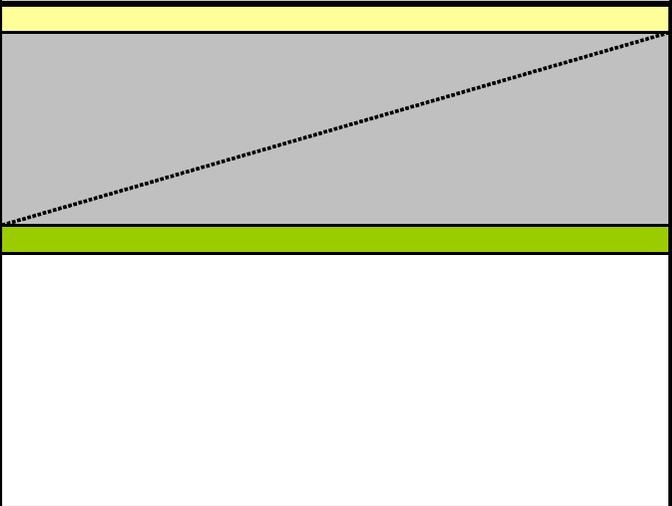
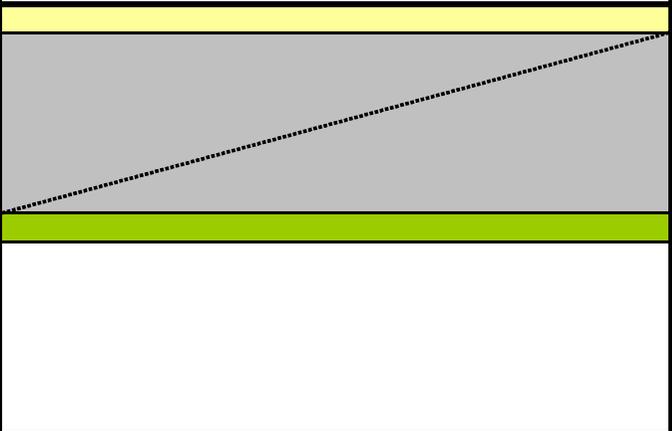
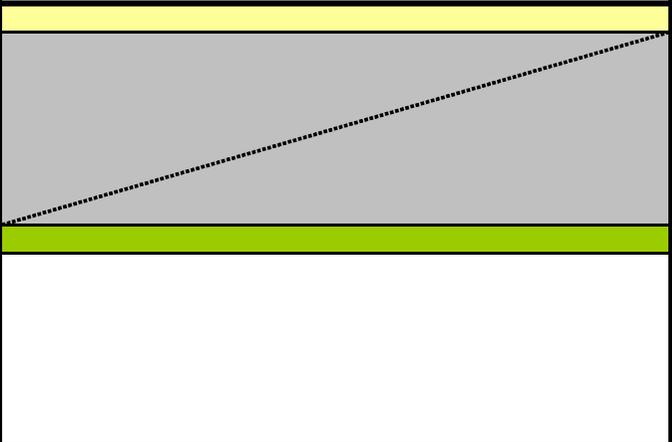
記入者(管理者)  
氏名 目見田恵子

評価完了日 2021年9月30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念は、各自の名札の裏やユニットの入り口、ユニット内に貼り実践につなげている。	
			(外部評価)	
			事業所は「地域で助け合う」「地域に寄り添った事業所」を目指しておられる。理念を毎月のユニット会時に話し合われたり、職員個々の名札に示された理念を個々が確認しながら日々のケアを振り返り、実践に向けて取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の行事などの招待を受けたり、多賀の里の行事に招待したり地域や、近隣の小、中、高等とも交流をしている。(職場体験や、インターシップなど)。	
			(外部評価)	
			近所の方が遊びに来てくれ、一緒におやつを食べながらおしゃべりを楽しまれたり、利用者が近所の方宅に遊びに行かれることもある。事業所で行う夏祭りの際には、地域の方に店の準備を手伝っていただいたり、地域のお祭りには利用者も出かけて楽しまれている。事業所で系列医療機関の医師による「糖尿病の講演会」を行い、地域の方がたくさん参加された。次の講演は、11月に予定されており、広報等で地域に広く案内されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			栄養推進の方たちと地域の方の料理を作ったり、年1回ではあるが病院の先生により講演をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実                      際、評価への取り組み状況等について報告                      や話し合いを行い、そこでの意見をサービ                      ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の日々の暮らしを報告したり、色々なことを細                      かく報告し意見、要望など聞き実践に向け取り入れて                      いる。又次の会時報告している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、地域の自治会や婦人会等の、各会長や民生                      委員、ご家族等も参加されており、事業所の行事に参                      加した際の意見や感想をいただいたり、介護保険の                      サービスについて質問をお受けする等、参加者からの                      発言も多く、活発な意見交換をされている。会議で話                      し合ったことについては、申し送りノート等を用いて                      職員全員が知ることができるようになっている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、                      事業所の実情やケアサービスの取組みを積                      極的に伝えながら、協力関係を築くように                      取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進時や介護相談委員を受け入れたたり、また普段                      から色々相談したりと関わりを持つようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時に、参加者から介護報酬について質問                      が出た際に、市の担当者の方に詳しく説明していただ                      いた。又、法人内研修時に、地域包括支援センターの                      担当者の方に「高齢者の尊厳の保持」について話して                      いただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準におけ                      る禁止の対象となる具体的な行為」を正し                      く理解しており、玄関の施錠を含めて身体                      拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的に拘束はしない方針だが生命の危険と考えられ                      る方（経腸管栄養時チューブを抜く可能性がある時）                      は家族了解のもとミトン使用している。全体的には拘                      束ゼロにとりくんでいる。又マニュアルなども作成済                      み。</p> <p>(外部評価)</p> <p>栄養チューブを抜く可能性がある方については、食事                      時、ミトンをしてもらっており、使用時間等を日々の                      記録に記入されている。エレベーターや階段を使い外                      出される方もあり、職員は声かけや見守りをされてい                      る。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  虐待については、開設以来折に触れ勉強会をしたり、各ユニット内で話し合ったり、又文章を配り全員で共有したりと防止に務めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  成年後見人につき理解している職員もいるが、理解できてない職員もいる。研修などある時順次参加して行きたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  センター長、各リーダー、ケアマネなどが十分に説明を行い、疑問点にも充分説明し理解してもらっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  家族会や意見箱などの設置により意見を聞いている。又面会時声掛けをし希望など聞くようにしている。  (外部評価)  事業所のクリスマス会時に、家族会を開催されている。遠くにお住まいのご家族には電話で連絡されたり、ケアプラン作成時、意見をうかがうよう努められる。	          さらに、ご家族から事業所の活動や支援等について、具体的にご意見や要望をうかがえるような雰囲気作りの工夫を重ねていかれてほしい。たとえば、家族アンケートの集計表等も用いて、具体的なご意見を引き出してはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ユニット会などで意見を述べる機会を設けたり、個別懇談などし個々の意見を聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			職員は、年に2回、目標を立てるようになっており、それをもとに施設長と面談をされている。各ユニットリーダーが職員の意見を取りまとめて、施設長に伝えるようになっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			給料の仕組みを説明したり、いろいろ資格など取れば努力を認めてくれている。職場の環境なども聞ける範囲の中で聞いてくれている。	
			(外部評価)	
			職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			色々な研修に対し本人の希望に添うようしているが、勤務状態により出来ないときもある。又職員に合う研修など強制的に行ってもらう事もある。	
			(外部評価)	
			同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			イベントなどの時は招待されたり、したりと交流をもっているが勉強や研修などは同業者というよりは、個人でしている方はいる。	
			(外部評価)	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			人によって異なるが入所前に本人と家族様が来られ、見学したり説明や話を聞いたりしているが、本当の要望や気持ちは入所してから知る事が多い。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族によって違うがほとんどの家族の方は、入所してから色々な要望など言われる方がほとんどである。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>おおまかな事は伝えるが、ほんとうの意味での支援やサービスなどは入所してからのほうが多い。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の希望はもちろん家族の希望をふまえ家事などを共にし関係を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時などには、情報交換を行い本人が必要としていることを考えている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>昔の事を覚えて話しを出来る方が殆どいないが、少しでも話が出来る方にはかかわりのなかではなしかけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>併設デイサービスに通われている友人が訪ねて来られたり、又、ご本人がデイサービスに会いに行かれています。月1回、外泊してご家族と過ごされる方もある。手紙を出したり、携帯電話でご家族とおしゃべりを楽しむ方もある。外出時にご自宅の近くを通ってみることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の会話ができる方が殆どいない為どうしても孤立している為職員ができるだけ対応している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院などの為やむえず退去された方に対し希望される家族がいるば行って。又時にはこちらから電話などしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 訴えができる方が殆どいない為こちらが考えて努めている。出来る方に対しては本人の希望などを尊重している。 (外部評価) 職員は、お家族から生活歴をお聞きしたり、又、好きな歌等を通し、コミュニケーションをとりながら情報収集されている。意思疎通のむづかしい方であっても「まばたき」や「うなずき」等からも思いを把握できるように努めておられる。「利用者の様子がより細かく分かるように」日々の生活記録を一時間毎に記録するように改善されていた。	職員は「利用者個々のできることを把握し、レベルができるだけ低下しないようなケアに努めたい」と話されていた。ご本人主体の生活を支援していくためにもアセスメントの充実をすすめて、支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族の面会時などに話を聞き把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中で観察や声掛けの中で現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族に意向を聞きながら作成している。またユニット会などしケアプランなど作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画について、毎月のユニット会でモニタリングを行い、3ヶ月ごとに計画を見直しされている。ご家族の要望をお聞きしたり、食事の形態等、医師の食事のアドバイスを取り入れておられる。又、退院時等、ご本人の状態変化に応じて見直されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>大まかな記録は残しているものの細かく残していない時もあるが、重要な事は記録している。又ケアプランに沿った記録が出来ていない時もある。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族や本人からの希望があれば話し合いにより対応している。又時により希望があれば付設のデイサービスや小規模多機能などとも連絡を取り合っており利用している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の神社の祭りの行事に参加したり、散歩などのコースにしたり楽しんでいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入居前からのかかりつけ医との関係は築いている。	
			(外部評価)	
			協力医が週一回、往診に来てくれるようになってい る。又、それぞれのかかりつけ医も往診に来てくれる ようになっている。事前に緊急時の対応時等の希望を お聞きしており、ご家族等に連絡のつかないような時 等には、それに沿って支援することになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			各ユニットには、看護師が1人はおり三人の看護師は 利用者全員の事は把握しており急変時などすぐ対応出 来るようにしている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院中は職員が訪問したり、電話などにより医療機関 とは密に連携出来ている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族との話し合いは、事あるごとにしている、又主治 医との相談なども常にし終末期のありかたを共有して いる。(文書なども作成している)が地域とのつなが りは終末期に関してはできていない。	
			(外部評価)	
			入居時に終末期の支援について希望をお聞きしてお り、状態の変化時には、医師・ご家族と今後のことを 相談されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  急変時の対応や連絡先など目立つ所に掲示し応急手当など職員同士話合っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  災害時の対応は定期的に訓練している。地域の方には常日頃災害時の協力をお願いしている。	施設長は、二階から避難する方法の検討や近くの河川の氾濫があった場合のマニュアルの作成をすすめることを予定されていた。利用者、職員の安全のための取り組みをすすめていかれてほしい。
			(外部評価)  近隣の4軒のお宅に避難時の利用者の見守りをお願いされている。地域の方にも、運営推進会議時に協力をお願いをされている。カーテンは防災カーテンにされている。年2回の避難訓練では、職員が2階から毛布を使って利用者を避難させる方法や非常階段を使って、実際に利用者と避難訓練をされた。職員は、落ち着いた対応の必要性を感じておられた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  利用者様は人生の先輩と言う事をいつも念頭におき接するよう心がけている。	事業所では、時に「口調が強くなったりする事が見られる」と感じておられる。接遇の研修を今後も受講して、ケアの質向上を目指していきたいと話しておられた。
			(外部評価)  外部研修で接遇の勉強をされており、職員は、意識して対応できるよう心がけておられ「不適切な言葉かけ等が見られた時には職員同士で注意し合う」ようになっている。昼食後の過ごし方について利用者に関心ながら支援されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  自己決定出来る方が少ないので思いなどくみ取るよう心がけている。自己決定出来る方は働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  自分の意志で動ける方には、本人のペースに合わせているが動けない方思いを伝えられない方に対しては、こちらの都合に合わせてもらう事もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  支援できている。美容師などに来ていただいたりこちらから出かけたたりもしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  好みなど言える方には取り入れているが、そうでない方には日々のかかわりで好みが変わっている為取り入れるよう献立など考えている、またレベル的に準備や片付けは出来ていない状態である。	
			(外部評価)  事業所で食事作りをされており、職員は、利用者と一緒に同じものを食べておられ、利用者が折り紙で作った箸置きを使用しておられた。盛り付けは「彩りよく」するように心がけておられ、調査訪問時、利用者が料理をみて「きれいやね、おいしそうやね」という声が多く聞こえてきた。メニューは、ユニットごとに違い、お好み焼きや餃子等、利用者の好みも考慮されている。食欲が低下している時等には、おやつや野菜ジュース等でも栄養等を補足できるよう工夫されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  支援できている。食事量、水分量などはチェック表に記入し職員全員が把握出来るようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後声掛けしたり、1人1人合った方法でケアをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 1人1人の排泄パターンを把握しておりトイレ誘導している又寝たきり状態に近い方に対しても日中はオムツでなく布パンツで過ごしてもらっている。 (外部評価) ほとんどの方は、日中は布パンツで過ごされており、トイレで排泄できるよう誘導をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック表を活かし、状態により繊維の多い食べ物を多くしたりセンナ茶など飲用したりして便秘薬はあまり使用しないようにしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) なるべく1人1人のペースに合わせての入浴に心がけているが、時間の都合などで職員のペースになっていることもある。但し自立されている方に対しては本人の希望に合わせている。 (外部評価) 毎日入浴される方もある。入浴時、お若いころ苦労されたことや趣味のこと等のお話しをされる方もある。寒くなると、脱衣所にストーブをつけて暖かくして、すべての利用者が浴槽で温まれるように支援されている。リフトを設置して、重度の方も安楽に入浴が楽しめるようにされている。時には、職員と利用者で温泉に出かけたり、足浴やフットマッサージ等も支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 本人の希望が言える方はしている。希望が言えない方に対しては状況に応じてこちらが対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方せんをいつでも目を通せる所に置いていて把握出来るようにしている。また変更があれば申し送りノートに書いたり看護師の指示などがあり全員が理解できるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 自分で動けたり出来る方に対してはそうしているが、出来ない方に対してはドライブや散歩又外食などはしているが思うように支援出来てないところもある。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 重度化している方が多くいつでも希望に添えているとは言えないが出来る範囲で色々な所に出かけている。	
			(外部評価) 毎月、利用者の希望を聞き、外食に出かけておられる。最近「餃子が食べたい」との利用者の希望で食堂に出かけられた。法人内の他グループホームで育てている菊を見に出掛け、利用者は感激されていた。毎日、近くの神社にお参りに行かれており、時々、お菓子や果物を買いにスーパーに行かれていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金の計算や管理が出来る方がほとんどいない為お金を持っていない。1人のみ出来る方はお金を持っているので支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 出来る方はそうしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ユニット内は、天気の悪い日などは日中でも電気つけて明るくしたりリビングなどには季節の花など飾り季節がわかるよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>気温の変化によって室温調節されており、利用者にお聞きしながらひざ掛け等も用いて調節されている。ご近所の方から頂いたバラの花や利用者と職員で作った切り絵が飾られていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファなど置いたり和室などで過ごせるようにはしているが、実際は自ら移動して過ごせる方がいない為職員が、状況によりしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>馴れそめの家具など持って来ている方もいるが、いくらお願いしても持って来てくれない家族の方もいるものの強く強制はしていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室には、ボードを用意されており、お孫さん等、ご家族の写真等が飾られていた。植木鉢を沢山持ち込んでお世話をされている方や、仏壇にお花やお供え物をされている方もある。裁縫道具を使って座布団を縫ったり、ボタン付けや繡い物をされる方や字を書くことが好きな方は、詩を書かれたり、調査訪問時、調査員に手紙をもらった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下やトイレには手すりを設置したり、居室の入り口、又風呂場やトイレなど表示して場所などもわかるようにしている。</p>	